

平成29年2月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越含む)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,700,607	185,506	2,171,597	80.4%	529,010		
1. 営業収益	2,302,614	181,409	2,123,693	92.2%	178,921		
1. 給水収益	2,271,024	180,787	2,092,062	92.1%	178,962		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,590	622	31,631	100.1%	△ 41		
2. 営業外収益	397,330	4,096	46,314	11.7%	351,016		
3. 特別利益	663		1,590	239.8%	△ 927		
9. 水道事業費用	2,518,477	129,090	980,243	38.9%	1,538,234	1,104,983	43.9%
1. 営業費用	2,252,356	80,945	812,448	36.1%	1,439,908	937,120	41.6%
1. 原水及び浄水費	467,969	29,342	310,592	66.4%	157,377	355,502	76.0%
2. 配水費	294,770	20,791	207,323	70.3%	87,447	225,252	76.4%
3. 給水費	106,656	10,849	74,258	69.6%	32,398	82,032	76.9%
4. 受託工事費							
5. 業務費	161,797	12,829	134,317	83.0%	27,480	158,490	98.0%
6. 雑係費	135,428	6,448	85,272	63.0%	50,156	115,157	85.0%
8. 減価償却費	1,035,636				1,035,636		
9. 資産減耗費	50,100	686	686	1.4%	49,414	686	1.4%
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	244,316	48,125	167,363	68.5%	76,953	167,363	68.5%
3. 特別損失	1,805	19	432	24.0%	1,373	500	27.7%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入 (繰越含む)	2,316,742	△ 119,793	219,796	9.5%	2,096,946		
1. 企業債	1,276,100		55,000	4.3%	1,221,100		
2. 負担金・補償金	159,022	△ 122,623	138,673	87.2%	20,349		
3. 補助金	307,518				307,518		
4. 出資金	562,050		11,500	2.0%	550,550		
5. 加入金	12,052	2,830	14,623	121.3%	△ 2,571		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出 (繰越含む)	3,598,700	407,876	1,081,065	30.0%	2,517,635	3,188,207	88.6%
1. 建設改良費	2,943,652	266,506	615,290	20.9%	2,328,362	2,722,432	92.5%
1. 取水施設整備費	1,118,656		4,698	0.4%	1,113,958	1,023,119	91.5%
2. 導水施設整備費	162,540				162,540	150,484	92.6%
3. 浄水施設整備費	89,129	48,438	75,125	84.3%	14,004	87,199	97.8%
4. 送水施設整備費	481,140	117,044	186,200	38.7%	294,940	478,846	99.5%
5. 配給水施設整備費	1,089,163	101,024	349,268	32.1%	739,895	979,976	90.0%
6. 消防設備整備費	3,024				3,024	2,808	92.9%
2. 企業償還金	655,048	141,370	465,775	71.1%	189,273	465,775	71.1%
12. たな卸し資産購入限度額	57,365	4,162	21,296	37.1%	36,069	31,929	55.7%
①有収水量	8,000,000	622,268	7,285,829	91.1%	714,171		
②供給単価	283.88	290.53	287.14	101.1%	△ 3.26		
③給水原価	258.40	207.42	134.48	52.0%	123.92		
人件費	249,195	15,127	214,788	86.2%	34,407		
1. 収益的収支	210,173	12,485	177,602	84.5%	32,571		
1. 職員給与費	208,114	12,341	175,439	84.3%	32,675		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	2,059	143	2,163	105.1%	△ 104		
2. 資本的収支	39,022	2,642	37,187	95.3%	1,835		
* 職員給与費	247,136	14,983	212,625	86.0%	34,511		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	9.2%	6.8%	8.4%				
2. 全職員	10.9%	8.3%	10.2%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C = B - A	備考
A. 固定資産	43,059,091	43,631,561	572,470	
*減価償却累計額	18,174,387	18,174,387		
B. 流動資産	3,658,830	3,487,840	△ 170,990	
1. 現金預金	2,796,809	2,078,590	△ 718,220	
2. 未収金	820,666	345,788	△ 474,877	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 500		
4. 貯蔵品	33,973	32,575	△ 1,399	
5. 前払費用・前払金	190	939,061	938,871	工事前払金等
6. その他		91,826	91,826	仮払消費税
D. 水道事業費用		932,815	932,815	
1. 営業費用		765,050	765,050	
2. 営業外費用		167,363	167,363	
3. 特別損失		401	401	
1. 借方合計=A+B+D	50,118,489	51,452,783	1,334,294	
E. 固定負債	11,281,820	11,336,820	55,000	
1. 企業債	10,994,615	11,049,615	55,000	
2. 引当金	287,205	287,205		
F. 流動負債	1,547,494	649,732	△ 897,761	
1. 企業債	655,044	189,269	△ 465,775	H28年度償還元金
2. 未払金	825,284	260,687	△ 564,597	
3. 前受金	112	67	△ 45	
4. 引当金	55,109	28,768	△ 26,341	・賞与引当金・修繕引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	11,945	170,942	158,997	
うち仮受消費税		159,272	159,272	
G. 繰延収益	9,443,211	9,595,363	152,153	
1. 長期前受金	9,443,211	9,595,363	152,153	償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* // 収益化累計額	3,400,567	3,400,567		
H. 資本金	9,340,661	9,659,677	319,016	
1. 自己資本金	9,340,661	9,659,677	319,016	・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	330,417	22,900	△ 307,517	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	307,517		△ 307,517	
K. 水道事業収益		2,013,403	2,013,403	
1. 営業収益		1,968,725	1,968,725	
2. 営業外収益		43,123	43,123	
3. 特別利益		1,555	1,555	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	50,118,489	51,452,783	1,334,294	

a. 供給単価 (円、銭)	265.87	= 給水収益 ÷ 有収水量
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く
①実数値	127.98	= 原価算入額 ÷ 有収水量 当月予算
②シミュレーション	266.04	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの
c. 施設利用率	75.96%	= 一日平均配水量 ÷ 施設能力
d. 有収率	84.24%	= 有収水量 ÷ 配水量
e. 流動比率	536.73%	= 流動資産 ÷ 流動負債
f. 現金預金比率	319.91%	= 現金預金 ÷ 流動負債

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成29年 2 月期 業務実績報告書(水道管理課)

一 般 事 項

1 料金調定関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 計 画 累 計	D 前 年 度 同 月 累 計	E 対 計 画 比 較	F 対 前 年 比 較
1 調定件数	件	30,302	336,721	338,740	336,040	△2,019	681
2 調定水量	m ³	618,022	7,235,432	7,371,100	7,376,430	△135,668	△140,998
3 調定料金(税抜)	円	166,451,575	1,936,150,587	1,944,000,000	1,955,428,936	△7,849,413	△19,278,349
4 口振加入件数	件	25,069	279,036	-	279,900	-	△864

2 給水業務関係

項 目	単 位	A 当 月 期	B 当 年 度 累 計	C 前 年 度 同 月 累 計	D 対 前 年 比 較 (B-C)
5 給水人口	人	81,714	-	82,480	△ 766
6 給水件数	件	30,201	-	30,192	9
7 開栓処理件数	件	235	2,752	2,417	335
8 閉栓処理件数	件	195	2,830	2,482	348
9 給水工事設計審査	件	76	654	634	20
10 給水工事竣工検査	件	65	868	787	81
11 経年メーター交換	件	485	4,092	2,886	1,206
12 メーター口径変更	件	3	51	29	22
13 月末停止件数	件	2	76	77	△1

3 料金徴収関係

項 目	A 当 月 未 収 額		B 収 納 率		C 前 年 同 期 未 収 額		D 収 納 率	
14 当年度分	194,635,880	円	90.69	%	193,749,580	円	90.83	%
15 過年度分	4,359,273	円	97.75	%	4,387,296	円	97.64	%
16 全 体 (計)	198,995,153	円	-		198,136,876	円	-	

4 給水装置工事指定業者(2月期異動なし)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	16	12	13	9	8	14	7	105	117	222

5 入札・契約

(左:累計 右:当月)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	113/116	2/2	72/75	0/0	13/13	0/0	10/10	2/2	17/17	0/0	1/1	0/0
契約締結	一般	27	0	27	0	0	0	0	0	0	0	0
	指名	53	2	32	0	6	0	3	2	12	0	0
	随契	33	1	13	1	7	0	7	0	5	0	1
	合計	113	3	72	1	13	0	10	2	17	0	1

※入札中止 当月 0件:累計2件/入札不調 当月 0件:累計 3/入札取消 当月 0件:累計 0件/未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容
竣工検査	25	3	工事
中間検査	22	4	工事
合 計	47	7	

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	1日	2月 事業打合せ等
事業調整会議	1日	第11回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
水道事業連絡会議	8日	第11回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
安全衛生委員会	15日	第11回 行事計画、日程調整等
水道ブースター会議	16日	2月期 「出納管財係の業務」
給水拠点設置訓練	20日	第11回 津山総合支所
経営分析会議	23日	1月期 各種経営分析等
例月出納検査	28日	1月分 例月出納現金検査
指名委員会	24日	第31回
入札会	2日	2件
緊急メールの発出	-日	漏水8、破損1、配信訓練1、取水停止5

特 記 事 項

1. 2月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は180,787千円(税込)で、前月期に比べて2,011千円の減で、予算執行率(累計)は92.1%(前年度93.4%)、対前年同月比(税抜)では801千円の減となっています。営業収益は手数料収益622円を含む181,409千円、営業外収益は事務手数料3,707千円、雑収益として(公社)日本水道協会からの水道技術管理者資格取得講習実務研修者受入れに伴う委託費259,200円を含む4,096千円となりました。

当期の営業費用は80,945千円を執行し、累計額は812,448千円、予算執行率(累計)は36.1%(前年度36.0%)となりました。特別損失として放射性物質検査料19千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金5,442千円、加入金2,830千円を執行し、一部補償金を減額したことにより累計で153,296千円となり、執行率(累計)は6.8%(前年度0.7%)でした。

支出は、浄水施設機器整備費に48,438千円、送水施設整備費に117,044千円、配給水工事請負費に79,922千円、同じく機器整備費に18,405千円、事務費に2,697千円を執行し、累計では945,248千円となり、執行率(累計)は27.3%(前年度19.2%)でした。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、水処理用薬品、非常用飲料水袋6,000枚等に4,162千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 2月定期議会が開会(2月2日~3月8日)

平成29年登米市議会定例会2月定期議会(会期は2月2日(木)から3月8日(水)まで)が開会されました。水道事業所では、平成28年度登米市水道会計補正予算(第3号)と平成29年度登米市水道事業会計予算の2議案を上程しました。なお、平成28年度の補正予算については、2月27日(月)に原案どおり可決されました。

(2) 総務企画常任委員会に出席(2月7日、14日、23日)

総務企画常任委員会が3回開催され、2月7日(火)は2月定期議会に提案した補正予算についてと翌週開催される施設更新計画策定委員会委員との意見交換会に向けて、委員会の目的や、これまでの審議内容について事前に説明を行いました。

また、2月23日(木)には定期議会に提案した平成29年度の当初予算(案)についての説明を行いました。

2月14日(火)の意見交換会では、常任委員及び策定委員が全員出席し、最後に常任委員長からは「今後、施設の更新をしていく中で、一部の施設を削減することになると思うが、コストとリスクのどちらも最小にすることが登米市にとって一番必要なことだと思う。また、策定委員の皆さんには、もう一年間ご協力いただきたいと思っておりますし、水道事業所としても、もっと情報発信をして説明責任を果たし、多くの市民に応援団やファンになってもらうようお願いしたい」との話を頂きました。

(3) 第6回施設更新計画策定委員会を開催(2月13日~14日)

平成28年度4回目となる第6回登米市水道事業施設更新計画策定委員会を2月13日(月)、14日(火)の2日間開催しました。

1日目は「更新計画における水需要について②」と「施設の再構築・再配置計画について③」を議題して、平成27年度の国勢調査に基づく水需要(人口及び水量)の推計と、保呂羽浄水場のろ過設備等の更新案等について協議しました。

2日目は、総務企画常任委員との意見交換会を行いました。

(4) 職員採用試験の結果を発表(2月10日)

1月に実施した登米市水道事業職員(社会人経験者)採用試験の結果、3名の採用を決定し2月10日(金)に発表しました。



総務企画常任委員会



施設更新計画策定委員会

平成29年 2月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	757,861	9,082,289	9,069,030	9,165,544	13,259	△83,255
総配水量	683,482	8,648,874	8,719,300	8,716,740	△70,426	△67,866
1 有効水量	685,387	7,866,950	7,974,320	8,010,704	△107,370	△143,754
(1)有収水量	622,268	7,285,829	7,417,700	7,423,256	△131,871	△137,427
(2)無収水量	63,119	581,121	556,620	587,448	24,501	△6,327
2 無効水量	△1,905	781,924	744,980	706,036	36,944	75,888
(1)漏水量	△2,835	775,722	737,000	697,373	38,722	78,349
(2)その他無効水量	930	6,202	7,980	8,663	△1,778	△2,461
3 有収率	91.04	84.24	85.07	85.16	△0.83	△0.92

※当月期の最大配水量は、2月2日(木)に記録した【26,495m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	1,118,656	3	1,018,421	1	4,698	95,537	91.5%
イ 導水施設整備事業	2	162,540	2	150,484	0	0	12,056	92.6%
ウ 浄水施設整備事業	14	89,129	3	12,074	10	75,125	1,930	97.8%
エ 送水管整備事業	6	481,140	4	292,647	2	186,200	2,294	99.5%
オ 配給水施設整備事業	71	953,345	38	630,708	13	213,451	109,186	88.5%

*注1 件数及び金額は工事+委託の合計です。

◎毎日検査

※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場	保呂羽浄水場水系	東和町水系	石越町水系	大萱沢浄水場水系
	F1遊離残留塩素	(測定戸数: 7)	(測定戸数: 6)	(測定戸数: 1)	(測定戸数: 2)
平均	0.58	0.40	0.43	0.55	0.47
最低	0.56	0.28	0.20	0.50	0.35
最高	0.61	0.54	0.67	0.60	0.50

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H29.2.20	<0.7	<0.9	米谷水系浄水場	H29.2.20	<0.8	<1.0
石越浄水場	H29.2.21	<0.8	<0.8	楼台浄水場	H29.2.20	<0.5	<0.9
大萱沢浄水場	H29.2.20	<0.8	<1.0	合の木浄水場	H29.2.20	<0.7	<0.7
米川水系浄水場	H29.2.20	<0.9	<0.9	大綱木浄水場	H29.2.20	<0.9	<0.7
錦織水系浄水場	H29.1.20	<0.9	<1.0	—	—	—	—

特 記 事 項

1 包括的委託業務発注者評価を実施(2月27日)

平成28年度から5年の期間で委託契約した包括的業務の発注者評価を2月27日に実施しました。午前中に「浄水施設等管理運転業務、受託者：明電舎・アイケーエス共同企業体」、午後から「配水施設等維持管理業務、受託者：登米市管工事業協同組合・フジ地中情報(株)共同企業体」を実施しました。評価は、委託仕様書に基づき、業務実施体制・業務実施状況・個人情報保護体制・災害等緊急時危機管理体制・その他業務委託に係る提案について実施状況を確認しました。3月7日・8日には外部委員による評価を実施する予定です。評価を踏まえ、今後改善が必要な項目については改善策を早急に策定し、より充実した業務委託による「安全・安定・安心」な水道事業を目指します。

2 保呂羽浄水場着水井・混和池、下り松取水塔内清掃作業実施

2月1日保呂羽浄水場「着水井・混和池」に堆積した土砂の撤去及び水処理薬品注入配管設備の目詰まり状況等を確認し、清掃を実施しました。2月22日には、下り松取水塔内ポンプピットの土砂堆積等による取水能力低下を防止するため、清掃を実施しました。取水停止を伴う作業で、浄水施設等管理運転業務仕様に基づき受託者が実施しました。

3 下り松ポンプ場築造工事完成

平成27年度に着手した下り松ポンプ場躯体施設が完成しました。登米市水道の8割を担う保呂羽浄水場の取水設備である下り松取水塔で東日本大震災時に取水ポンプが故障し、復旧まで時間を要した経験から、取水ポンプを特注の大型水中ポンプから汎用性の高い水中ポンプと陸上ポンプの組み合わせに更新するため、新たに下り松ポンプ場(陸上ポンプ4台)を建設したものです。この事業により、災害時の迅速な復旧対応を可能にし、水道水を安定して供給することが可能になります。残る機械電気設備及び場内整備(発注予定)工事は平成30年2月完成に向け施工中です。



4 水道1号線「耐震補強」実施(2月17日、23日)

基幹配水管の漏水防止を目的とし、漏水する可能性が高いダクタイル鋳鉄管接合部にカバージョイントの設置を進めています。2月末で予定5箇所のうち4箇所の施工が完了しました。残り1箇所は3月8日を予定しています。

5 第7回田瀬ダム水質検討会開催(2月22日)

22日(水)、盛岡市を会場に、東北地方整備局北上川ダム統合管理事務所主催の第7回田瀬ダム水質検討会へ北上川流域関係団体として菊池課長・千葉技術主査が出席しました。会議は、「前回検討委員会の意見・指摘事項と対応」、「今後の調査内容と結果報告」、「水質保全対策の方向性」、「今後の予定」等について検討が行われました。今後とも流域関係団体間で情報を共有化し、更なる連携を図り対応していくことを再確認し閉会しました。

6 新田配水池ポンプ設備故障による水代金請求

新田配水池配水ポンプ設備故障に伴い、配水池水質保持及び配水管切替作業に要した水代金(排水量3,577m³、1,019,333円)を瑕疵担保に基づき施工業者(株東芝東北支社)に請求しました。

7 平成28年度の漏水調査結果について

2月末の漏水調査の結果89件202.67m³/h(累計)の漏水を発見しています。計画有収率85%を目標に調査を実施します。

8 地震発生状況

平成28年11月22日以来、登米市内における震度4以上の地震は発生していません。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m ³ /h)
	配水管	19	156.04
	付属施設	0	0.00
	給水管	70	46.63
	計	82	202.67